

ユリアンナ・アヴデーエワ
ピアノ・リサイタル

Piano Recital

YULIANN Avdeeva

2026年 **12/1** (火) 19時
東京オペラシティ コンサートホール
Tuesday, December 1, 2026 at 7 p.m.
Tokyo Opera City Concert Hall

ブーレーズ: 12のノタシオン
Boulez: 12 Notations pour piano

ラヴェル: 亡き王女のためのパヴァーヌ
Ravel: Pavane pour une infante défunte

[秋山エマ&ユリアンナ・アヴデーエワ共同委嘱作品]

藤倉 大: Quiet Offering for piano (日本初演)
[Co-commissioned by Emma Akiyama and Yulianna Avdeeva]
D.Fujikura: Quiet Offering for piano (Japan premiere)

ラヴェル: 高雅で感傷的なワルツ
Ravel: Valses nobles et sentimentales

ショパン: 12のエチュード op. 25
Chopin: 12 Etudes, op. 25



©Maxim Abrossimov

S¥8,000 A¥6,000 B¥4,000

主催: KAJIMOTO
協力: ファインアーツミュージック株式会社



美音と知性の結びつきが生む、奥行きに満ちた音楽のアーチ —— アヴデーエワによる2つの「12」

百年の時を隔てた、ふたつの「12」が向かい合うとき、そのあいだに広がる音楽の時間は、驚くほど奥行きに満ちていくだろう。
ユリアンナ・アヴデーエワのピアノは、美音と知性が分かちがたく結びついている。昨年の来日公演ではショスタコーヴィチの《24の前奏曲とフーガ》全曲を演奏し、24の調性が織りなす壮大な世界を圧倒的な説得力で描き出した。その3時間に及ぶ旅路が少しも長く感じられなかったことは、今も鮮明に記憶している。

今回のプログラムは、まさにアヴデーエワならではの構成だ。ブーレーズが20歳で書いた《12のノタシオン》は、十二音技法の可能性を12の小品に凝縮した連作。一方、ショパンの《12のエチュード》op.25は、超絶技巧と詩情を兼ね備えた傑作である。調性の解体へ向かった20世紀の構造美と、調性の魅力を極めた19世紀の詩情。その両極が響き合いながら、一夜の大きなアーチを描いてゆく。

その中心に置かれるのが、藤倉大の新作《Quiet Offering》の日本初演である。秋山エマ氏とアヴデーエワ自身が共同委嘱したこの作品は、ラヴェルの《亡き王女のためのパヴァーヌ》と《高雅で感傷的なワルツ》に挟まれて演奏される。失われた時代への憧憬と繊細な色彩感覚に満ちたラヴェルの音楽は、藤倉の新たな創造と響き合いながら、過去と現在を結ぶ架け橋となるだろう。その豊かな想像力と鋭敏な感性が紡ぐ時間を、ぜひ会場で体験していただきたい。

飯田 有抄(クラシック音楽ファシリテーター)

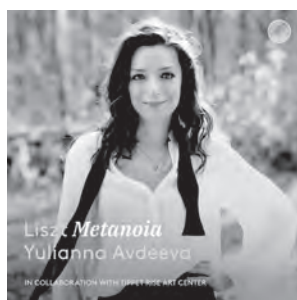
ユリアンナ・アヴデーエワ(ピアノ) Yulianna Avdeeva, Piano

2010年のショパン国際コンクールで優勝。アルグリッチ以来45年ぶりの女性優勝者であり、気高い情熱とヴィルトゥオジティを併せもつピアニストである。彼女の「自発的で劇的な起伏に富んだ」演奏は「深みと彩りに満ち」ており、その「揺るぎないテクニックはもとより、ひたむきな情熱と音楽性によって、常に抜きん出ている」(英紙『ザ・テレグラフ』)。

近年はベルリン・ドイツ響、モントリオール響、ケルンWDR響などと共演し、シカゴ響には2023/24年シーズンにデビューを飾った。ベルリンのピエール・ブーレーズ・ザール、ウィーン・コンツェルトハウス、ニューヨークのカーネギーホールなどで演奏し、最近ではザルツブルク音楽祭やアムステルダム・コンセルトヘボウにリサイタル・デビューを果たしている。2025年にグヴァントハウス管とボストン響が共同で立ち上げた、ショスタコーヴィチ没後50年を記念する音楽祭で「24の前奏曲とフーガ」を全曲演奏したことは特筆され、この曲集はブラハやベルリン、日本など世界各地でも演奏している。

録音も多く、近年はPENTATONEレーベルから『Resilience(復活の力)』(2023)、『ショパン: Voyage(ボヤージュ)』(2024)、『ショスタコーヴィチ: 24の前奏曲とフーガ(全曲)』(2025)を発表。ショスタコーヴィチの録音は、第1回新レコード・アカデミー賞を受賞した。ECMレーベルでのクレメールとの共演によるヴァインベルクの室内楽作品集(2017、2019)も高い評価を得ている。

PENTATONE 注目CD続々リリース! ユリアンナ・アヴデーエワ



最新盤 2026年発売 日本語解説付

《メタノイア》～リスト作品集

ピアノ・ソナタ 短調 / 悲しみのゴンドラII /
無調のバガテル / 灰色の雲 / 死のチャールダーシュ /
R.W. - ヴェネツィア / ハンガリー狂詩曲第17番 / 凶星! /
波の上を渡るパオラの聖フランチェスコ

ヴィルトゥオーゾのその先へ。作曲家リストの真の姿
名曲「短調ソナタ」と後期の深遠な作品群を一挙に堪能

PTC-5187655FD (CD) 税込3,500円 2024年録音



ショスタコーヴィチ:24の前奏曲とフーガ Op.87
&ショスタコーヴィチ(メイエル補完):前奏曲とフーガ 嬰ハ短調
バッハへのオマージュから独自の語り口まで、目くるめく全24曲を網羅
PTC-5187480 (2CD) オープン価格 2025年録音



《ショパン・ボヤージュ》
ピアノ・ソナタ第3番 / 幻想ポロネーズ / 舟歌 / マズルカ / 他
ショパン・コンクール覇者アヴデーエワによるオール・ショパン・プログラム
PTC-5187233 (CD) オープン価格 2024年録音



《復活の力》
シュビルマン、ショスタコーヴィチ、ヴァインベルク、プロコフィエフ
少なからず歴史に翻弄された4人の作曲家の壮絶な音楽を現代に解き放つ
PTC-5187073 (CD) オープン価格 2020/21年録音

FINE ARTS MUSIC, INC.
輸入販売元: ファインアーツミュージック株式会社

チケットのお申込み

カジモト・イープラス 検索

www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 050-3185-6728

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからも申込みいただけます。

“kajimotomusic”で検索! YouTube @kajimoto_News @kajimotomusic

チケットぴあ <https://t.pia.jp> (Pコード: 334-180)

e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

東京オペラシティチケットセンター(10:00~18:00 月曜定休) 03-5353-9999

カジモト・イープラス



一般発売:
8/29(土) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 8/21(金) 12:00~24(月) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 050-3185-6713 [10:00~18:00 (初日のみ12:00より受付)]

- お車で越しのお客様は東京オペラシティビル駐車場駐車料金の1時間割引制度がご利用いただけます。
- やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承ください。
- 未就学児のご入場はご遠慮いただいております。 ●団体料金のある公演もございます。詳しくはお問合せください。
- ご来場の皆様に安心して聴きいただけますよう、感染症の防止と予防のための適切な対策に今後も引き続き協力をお願い申し上げます。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 ticket@kajimotomusic.com <https://www.kajimotomusic.com/>